

令和6年度第1回此花区区政会議

0 補足事項

区政会議の途中（将来ビジョンの説明の後）に区政会議委員に4つの班に分かれてもらい、区政会議をより活発な会議に資するためのグループディスカッションを実施した。

（日時：令和6年7月17日（水） 午後6時55分～午後7時30分（35分間））

1 区政会議開催日時

令和6年7月17日（水） 午後6時15分～午後8時40分（145分間）

※うち35分間はグループディスカッション

2 区政会議開催場所

此花区役所 講堂A・B・C

3 出席者の氏名（敬称略）

【委員】

板井 さくら、井出 佳子、井元 邦弘、浦野 英男、太田 安造、小川 文男、
角林 佳代子、岸 ちず子、北谷 弘子、口池 孝志、小林 隆夫、佐竹 義明、陶山 哲也、
竹本 民子、中嶋 和章、中村 安津美、西村 慶友、松原 幾代、水谷 敢、三好 あつ子、
山田 光雄

【市会議員】

たけち 博幸、今田 信行

【区役所の主な出席者】

中島 政人	此花区長
門井 宏樹	此花区副区長
桑田 直記	此花区役所総務課長
福崎 順子	此花区役所総務課長代理
河野 陽	此花区役所まちづくり推進課長
池田 彰	此花区役所まちづくり推進課長代理
西川 勇二	此花区役所総合企画担当課長
小山 謙治	此花区役所総合企画担当課長代理
迫 修	此花区役所危機管理担当課長
和田 幸一	此花区役所危機管理担当課長代理

生駒 莊太郎	此花区役所教育支援・環境担当課長
浅雛 義直	此花区役所教育支援・環境担当課長代理
辻本 圭子	此花区役所窓口サービス課長
花田 佳幸	此花区役所保健福祉課長
和田 栄治	此花区役所地域福祉課子育て支援担当課長代理
福崎 武志	此花区役所地域福祉課長代理
嶋村 洋子	此花区役所保健担当課長
小川 理乙子	此花区役所保健副主幹
畑 和広	此花区役所生活支援担当課長

【行政機関等の主な出席者】

花森 将彦	財政局弁天町市税事務所長
井本 登巳彦	此花消防署長
雑喉 礼人	此花消防署長
森山 勝	建設局野田工営所長
松本 直己	建設局扇町公園事務所長
益田 光彦	大阪港湾局営業推進室販売促進課長兼経済戦略局立地交流推進部夢 洲・咲洲地区調整担当課長
大澤 忠浩	水道局北部水道センター所長
砂場 秀人	梅香中学校長（幹事校長）
猪俣 正和	男女共同参画センター西部館（クレオ大阪西）館長
渡邊 直美	大阪市立こども文化センター館長
辻 洋輔	此花区民一休ホール館長
川口 加奈子	此花区社会福祉協議会（此花ふれあいセンター）事務局長

4 委員に意見を求めた事項

（１）此花区の将来ビジョンについて

（２）令和５年度 此花区運営方針の実績・評価及び令和６年度 此花区運営方針の取組
状況について

（３）区制 100 周年事業について

5 議事

【西川課長】

皆様、改めましてこんばんは。お待たせしました。ちょっとまだ来られてない方もいらっ

しゃいますが、時間が参りましたので始めてまいりたいと思います。皆様方にはお忙しいところ、ご出席をいただきまして本当にありがとうございます。

ただいまより、令和 6 年度第 1 回此花区区政会議を開催いたします。私は進行役を務めさせていただきます、総合企画担当課長の西川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この区政会議は公開での開催となります。本日の資料と併せて、後日、議事録を公表いたしますが、その際にご発言者のお名前と発言内容を掲載させていただきますので、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、議事録作成を目的といたしまして、録画及び録音をさせていただきます。そして、議事録公開までの間、本会議の様子を動画にて公開させていただきますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。公開するのは本会議の議事録および動画のみでございます。後でグループディスカッションをしていただきますが、グループディスカッションにつきましては公開の対象となっておりませんのでよろしくお願いいたします。

なお今回の会議では実施いたしません、今後は会議の様子をライブ配信していくことも検討していきたいと考えておりますので、その際には改めてご連絡をさせていただきますと思います。

なお、本会議では、手話通訳を行っておりますので、ご発言の際にはできるだけはっきり話していただくなど、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

現時点で、委員の出席人数が定数の 2 分の 1 以上を満たしておりますので、本会議は有効に成立していることをご報告させていただきます。

なお、本会議は、大阪市教育振興基本計画に係る「保護者、区民等の参画のための会議」を兼ねて開催させていただきます。

それでは、開会にあたりまして、区長の中島よりご挨拶を申し上げます。

【中島区長】

どうも皆さんこんばんは。此花区役所の中島でございます。皆様には、区政および市政の方にご協力、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

また本日はお忙しい中、区政会議の方にご出席を賜っておりますことを感謝申し上げます。ありがとうございます。

私、4 月に区長になりまして初めての区政会議でございます。本日の区政会議はですね、この後の紹介にもありますように、此花区の将来ビジョン、これについて皆さんに論議いただきたいなと思って、区役所の方でたたき案を考えてきておりますので、ぜひそれを披露した上で、皆さんにどんどんご意見をいただければなというように考えてございます。そしてですね、できるだけたくさんの方とこのビジョンについて考える中で、ビジョンをまとめていき、そしてそれをですね実行するにあたりましては、これ区役所だけでは絶対実行できま

せんので、ぜひ皆様あるいは団体の方あるいは企業の方と一緒に頑張ってビジョンを実行すると、そしてこの此花区をより良くするという形にできればなと思ってございますので、本日は皆様どうぞよろしくお願いいたします。

【西川課長】

続きまして、本日ご出席の議員の皆様をご紹介します。たけち市会議員でございます。

【たけち議員】

こんにちは。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【西川課長】

今田市会議員でございます。

【今田議員】

いつもありがとうございます。

【西川課長】

それでは、議題に入らせていただきますが、まず資料の方の確認をさせていただきます。事前にお送りさせていただいた運営方針等の資料をお持ちいただくようにご連絡をさせていただいておりましたが、皆さんお持ちいただけてますでしょうか。もし忘れたという方がいらっしゃればよろしくお願いします。

皆さんの机の上に、本日先ほど区長からもありました将来ビジョンのたたき案の資料の方を置いております。まず一番上に今回の区政会議の次第ですね、次第を1枚もので置いています。その次に委員の皆様の名簿、その裏に行政機関の名簿を入れております。その次に此花区将来ビジョン2027案となっているものが一つ、その下にその別冊データ編と真ん中に書かれているものが一つ、その下に西九条駅周辺における新たな魅力創出と賑わい作りの取り組みについてという資料が一つ。

あと、此花区制100周年に向けてという資料、この資料と、あと机の上にはグループディスカッションで使用していただくメモ用紙と封筒を用意しております。何か漏れ等がございますか。よろしいでしょうか。

それでは今回の会議の進め方ですが、議題1の此花区の将来ビジョンについて、まず区役所の方からご説明させていただきます。その後、グループごとで意見交換をしていただきまして、そのグループでの意見交換は、この将来ビジョンと、事前にお送りした運営方針等の資料についても意見交換をお願いしたいと思っております。グループディスカッションが済みましたら、グループごとで意見をまとめていただいて、全体会で意見発表・質疑応答へ

と進んでまいりたいと思います。

それでは、以降の進行につきましては、議長の浦野様におまかせさせていただきたいと思っています。浦野様、どうぞよろしくお願いいたします。

【浦野議長】

皆さん、こんばんは。議長の浦野です。本日はお忙しい中、また暑い中区政会議に出席いただきましてありがとうございます。本日の議題としまして、地域作り・防災、健康・福祉、子ども・環境そして魅力発信、これらの四つのテーマを中心にしまして、先ほどありましたように、此花区の将来ビジョン、区制 100 周年事業と、盛りだくさんの項目になっております。

此花区の発展と、住民の皆様の生活向上に向けて、皆様の貴重なご意見をお聞かせいただき、より良い地域作りに生かしていただきたいというふうに思っております。忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

とは言うものの、時間も限られていますので、議事進行にご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。以後、着座にて議事進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは議題 1、此花区将来ビジョンについて事務局より説明をお願いいたします。

【中島区長】

それでは私の方から、此花区将来ビジョン 2027 という形で説明させていただきます。これは原案でございます。ぜひ皆さんからどんどん意見の方をいただきたいというように思っております。

それで今回のビジョンでございますが、令和 6 年度、2024 年度から令和 9 年度までの 4 年間という期間でございます。これ何で 4 年間かと言いましたら、私の在任期間というのは 4 年というように決められてございますので、この 4 年間についてのビジョンを示させていただきますというところでございます。

それで此花区の課題でございますが、これは私いろんなところで言うておるんですが、やっぱり大きなところは人口の問題やなというように思っております。人口は現在ですね、6 万 5000 人ということで、近年はほぼ横ばいではございます。ただ、年齢別に見るとですね、一番多いところが 50 歳で 1100 人、それから 20 歳になりますと 650 人、0 歳では 400 人というような形で、このままにしておくと、やっぱり著しい人口減少になっていくよというところがやっぱり大きな影響として今後現れてくるかなと思ってございます。そこでですね、そんなに簡単にこの人口減少を食い止めることは難しいんですけど、何とかやっぱり歯どめをかけるということが必要かなと思ってございます。そのためにはですね、区民の皆様、あるいは団体の皆様、あるいは民間企業の皆様との対話を通じてですね、どんどんいろんな知識やノウハウ、あるいは持てる資源、この辺を活用してですね、新たな価値

を作ること、これが必要なというようなことがございます。

万博のですね、目的というのが、一つは 2030 年の SDGs の達成、これが一つの目的でございまして、万博ご当地ということもございまして、ぜひこの此花区というのを SDGs の先進区と言われるまちを目標にやっていきたいなというように思っております。

それで目指す方向ということで、4 年間ということなんですけども 4 年間だけお示ししたのでは、なかなかおそらく方向性がわからないのかなということで、少しちょっと長期的、2050 年がいいのかというのはあるんですけど、もう少し長期でどういう街にしていっていいやろうか、というようなことを、長期ビジョンの方をまず作成の方しております。此花区で良いではなくて、此花区が良いと、まさに此花区に住みたいんやと言われる街にしていかなあかなというような形で設定しております。

ウェルビーイングという言葉を書いておるんですけども、これは SDGs のもう一つ先に行く、心身ともに健康、それから社会的にも健康という街というような形で最近よくウェルビーイングという言葉が使われております。おそらく SDGs の次の世代の言葉がウェルビーイングかなと思ってますんで、ウェルビーイングな街此花というような形にしております。

それで三つイメージを作っております。「にぎわい」と「うるおい」と「やすらぎ」というところでございます。

「にぎわい」のところなんですけども、区内最大のターミナルがありますのが、西九条の駅でございます。今現在西九条の駅はですね、本当に朝・晩とですね、本当に人がいっぱいというような形でございます。やっぱりユニバーサルスタジオさんがある影響が非常に大きいということで、非常に西九条駅は多くの人がいらっしゃるということでございます。この西九条の駅をですね、区内の湾岸部にあります、アミューズメント施設、あるいはアウトドア施設、あるいはスポーツ観戦施設、この辺、大阪というよりもどちらかといったらもう関西で、本当にこれだけの集積があるのは此花区だけ違うかなというぐらいでございます。その玄関口となるべく、西九条をしていかなあかなかなというような形でございます。

それから、「うるおい」のところでございますけども、そしたら街にするのに、どんどんどんどんタワマンが建っていったらいいのかというようなことなんですけども、やっぱりそれでは此花区寂しいんかなというところは思います。やはり此花区の良さというのは、やはり人情の街というところもありますし、古き良き大阪というところは残しながらも、タワマンも建って、町家という表現が京都じゃないのでいいかどうかかわからないんですが、こういう町屋のところもやっぱり残していく、そして自らのライフスタイルを選択できるような街というようなところが大事なかなと思ってございます。それから買い物する場もですね、好感度の店もあってもいいんですけども、やはりもっともっと地元の店、ここにもやっぱり潤いがあるような街でなければならないかな、というように感じてございます。

それから「やすらぎ」のところでございますけれども、結構湾岸部にスポーツ施設ですと

か、それからアウトドアもありますし、それからまた芸術も最近やっています、この辺に触れることができる街ということで、やはり大切な部分かなと思ってございます。それともう一つ、安全安心のところで、年齢とかそれから障がい、国籍に関わらず、ともにやっぱり助け合って、安全安心に暮らすことができる街、これがやっぱり一つベースにはなってくるかなというような形でございます。

それでちょっとエリア戦略をちょっと書かせていただきました。この此花区というのは四つにわかれてるんかなと思います。東側からいきますと、西九条周辺エリアというところ、それから主に区民の皆さんが住んでおられる住居中心のエリア、この区役所があるあたりのエリアかなと思います、それから次は工場がある工業中心のエリア、そして湾岸エリアです。そして湾岸エリアについては三つにわかれてるかなと思ってございまして、一つは USJ のエリア、それからもう一つは舞洲ですが、常吉のエリア、そして夢洲のエリアというこの三つにわかれてるかなと思ってございます。

それでそれぞれのとこなんですけども、この西九条のエリアについては、先ほど申しましたように、やはりこの湾岸部に関西 No.1 と言っていいほどのリゾート施設があるよねということの中で、リゾートエリアへの玄関口としてのもっと顔になる部分が必要なのかなというように思っております。それから、住居中心のエリアなんですけどもここがやはりいろんな商店街とかあるわけなんですけども、この一番のところの西九条の人をいかにやっぱり区内の中心部の方に持ってくるかというところ、千鳥橋の方ですね、あるいは伝法の方、この辺に持ってくる、これがやっぱり一つの課題かなというふうに思っております。

それから湾岸部の方なんですけども、結構 USJ のところは別としまして、この辺りですね、なかなかやっぱり交通の便がないよねっていうところでやはり同じ此花区であっても、結構遠いエリアというような疎遠な感じがするよねっていう形があるんで、この部分のところが心の距離感を縮める、もっともっと施設を使ってもらいやすくするみたいなところで利用促進というようなところもあって、区民の方が簡単に行けるよというような形にならないのかなというように思っております。そうすることによって区内での移動が増えることによって、区内の回遊性が高まる。そうすることによりまして、今現在、区民の多くの方がですね、やっぱり交通アクセス、特に西側へ行くアクセスが非常に不便やというようなお声をよく聞いておりますんで、その辺の需要が増すことによって、このアクセスの需要増大によってアクセスも必要に応じてできていくのかなというようにところでございます。

それからもう一つですね、正蓮寺川公園、今アートをやっていますので、いろんな力を入れておりますけども、アートだけじゃなくていろんな形で、やはりこの辺の魅力というところをもっともっと増大していくことによって、民の宝となるような正蓮寺川公園にしていかなければならないというようにところでございます。

それからもう一つ、USJ の南側のところでございます。このところ、今もあんまり綺麗なところではないんですけども、この辺りですね、もっともったこの舞洲あるいは夢洲、そして常吉、この辺のところへの舟運なんかも活かしまして、この辺のところをもっともっ

と湾岸も回れるような形、舟運でも回れる、あるいは舟運というのは単に輸送の手段だけじゃなくて、楽しめる手段というようなところにもなって、というような形で此花の魅力が増えていくのかなというように考えてございます。これが大きなエリア戦略でございます。

それで、目指す方向の体系なんですけども、一つですねビジョンを実行していくにおいて、やっていかんとあかんことは、実際区役所のやってることがどんだけ伝わってるんかなと思ったら、やっぱりなかなか伝えてるつもりでも伝わってないということが非常に多いかなと思ってございますので、伝わる広報づくりというのを、これ土台でしっかりやっていきたいなと、その上にきっちりとした戦略を作っていくということが大事なかなというように思っております。

それで目標設定に当たってはですね、結構実際やってることがどんだけ進捗しているかということ、現状の運営方針を見ましてもなかなかわかりにくいよねっていうところ、区民アンケート何%以上というのも結構多いんですけども、それが本当に行動やとか、どんだけ進捗しているかということがわからない、わからないということではなかなか PDCA が回って良い方向に向かっていかないよねっていうことがありますんで、できるだけわかりやすく数値化する、この数値化においてですね、実際今までどこまで進行してるのっていうことを、この辺をわかりやすくしていくというような形をできるだけとっていききたいなというように思っております。

ここに EBPM と書いてますけども、これ大阪市長であります横山市長も言われてることなんですけども、できるだけエビデンスに、証拠、数字ですね、に基づいてやっぱり政策を作っていけというように言われておりまして、この辺はぜひですね、此花区でもわかりやすい、ここまでできていますよ、いや、ここまでしかできてませんよ、そうしたら今後どうしていったらいいですよ、というようなことを、この辺を皆さんと共にですね、議論していきたいなと思っております。

ここまですが長期ビジョンでありまして、4年間のビジョンについては次の総務課長の方にバトンタッチさせていただきますけれども、私今説明しました長期ビジョン、それからこれからですね、説明させていただきます中期ビジョンですね。この辺についてはまだまだあの原案で私もまだまだ、中期ビジョンについてはいろんな課長と話しましたが、まだまだ満足のいくものにも私自身もなっておりませんので、皆さんとぜひ議論を深めながらですね、さらに良いビジョンというところ、この辺を作っていけたらなと思っておりますので、よろしくお願いします。それではちょっと交代させていただきます。

【桑田課長】

皆さんこんばんは。総務課長の桑田と申します。私からは各論といたしまして、目標設定に関してご説明をさせていただきます。それぞれの内容は区役所、各課に関するものですが、私から要点を中心に一括で説明をさせていただきます。

10 ページ、目標設定をご覧ください。こちらは 11 ページ以降の各項目の目次となっております。

ります。

では 11 ページをご覧ください。それぞれの施策展開の土台作りとしての伝わる広報でございます。これまでも区役所といたしましては、広報紙、チラシ、ホームページ、SNS など、様々な媒体で取り組みを進めてきておりますが、どれだけ伝えても実際に伝わらないと効果がないという問題意識に基づく取組として記載をしております。3 秒で情報の概要がわかるような、広報物の記載内容の工夫ですとか、LINE を通じた情報伝達と、そのアンケートに基づく PDCA の回転などにつきましても、意識的に取り組んでまいりたいと考えております。

12 ページをご覧ください。最重点目標（１）新たな魅力づくりでございます。先ほど区長からビジョンの総論の説明がございましたが、此花区の魅力をもっとアピールして、此花区の価値を創出していく取組でございます。行政だけの枠組みで考えていくのではなく、官民協働、民民共創といったスケールや視点で進んでいくことができますよう、行政といたしまして、様々な支援、取組をしてまいりたいと考えております。

13 ページをご覧ください。最重点目標（２）健康でございます。ウェルビーイングな街此花を目指していくに当たりまして、区民の健康意識が向上し、自ら健康の維持増進に取り組んでいく状態を形成していくことは極めて重要でございます。そのために行政としてどのように取り組んでいくのか、健康づくり活動や啓発などに関しまして、まとめているものでございます。

14 ページをご覧ください。最重点目標（３）環境でございます。SDGs を進めることによる持続可能な社会実現は、此花区の将来ビジョンに係る取り組みの基本かつ最重点の考え方の一つでございます。環境の視点から、路上喫煙、ポイ捨て防止対策、地域清掃、人権啓発などの取組につきまして、まとめているものでございます。

15 ページをご覧ください。重点目標（１）まちづくりでございます。地域コミュニティの維持活性化の要でございます、町会加入の促進について記載をしております。大阪市町会加入促進戦略に基づき、此花区町会加入促進アクションプランの策定に向けた取組などにつきましてまとめているものでございます。

16 ページをご覧ください。重点目標（２）教育・こどもでございます。区内の小・中学校の児童生徒の自己肯定感や、課題解決力が向上し、学力向上にも繋がるよう、学校教員、職員を対象にいたしました、外国に繋がる子ども支援策に係る研修、情報共有や人権啓発事業を活用する形で、多少でございますが、自己肯定感向上に向けた講師派遣事業の新設などに向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

17 ページをご覧ください。重点目標（３）防犯・防災でございます。まず、防犯意識の向上と、事故や犯罪の未然防止に向けまして、青色パトロールの他、警察等と共創した交通安全教室や防犯講座また防犯カメラの設置につきまして記載をしております。次に、災害が発生または発生するおそれが高い場合に適切に対応できますよう、平時からの取り組みといたしまして、避難行動要支援者に係る個別避難計画などについて記載をしております。

18 ページをご覧ください。重点目標（４）子育て・福祉でございます。超高齢社会の中で孤独死等を未然に防ぐため、日々の見守りなどによる、気にかける地域づくりのための取組につきまして記載をしております。また、適切な支援のもとで、虐待を受けることなく、命を輝かせていくことができますよう、令和 6 年 4 月から各区役所の子育て支援室に設けられております、こども家庭センターにおける学校園、保育所、母子保健などの関係機関の連携と保護者に対する支援につきまして、記載をしております。

此花区将来ビジョン 2027 案の本編の説明は以上でございますが、別冊といたしまして、データ編も添付しておりますので、こちらにつきましては、ご一読いただけますと幸いです。なお、この後の予定でございますけれども、広報このはな 10 月号頃を目途に、此花区将来ビジョン 2027 案に係るパブリックコメントにつきまして、区民の皆様にお知らせをしてみたいと考えております。その際には、区政会議委員をはじめといたしまして、ホームページ、区役所での配架、SNS などでもお知らせをしてみたいと考えております。パブリックコメントの集約後につきましては、必要に応じまして検討修正を行った上で、秋冬ごろには策定をしてみたいと考えております。また本案につきましては、地域の方からのご助言なども得ることで作成できております。お礼を申し上げます。また、本日区政会議でのご意見や、今後実施予定のパブリックコメントを通じまして、地域の皆様からのお声をさらに聞いていくことによりまして、地域と行政が一緒になって将来ビジョンを考え作っていくことができましたら幸いですと考えておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

私からの説明は以上でございます。続きまして総合企画担当課長から説明をさせていただきます。ありがとうございます。

【西川課長】

はい、総合企画担当課長の西川です。よろしくお願いします。私からは今説明のありました将来ビジョンの補足といいますか、一例ということでご説明をさせていただきます。区長からもお話がありましたように、西九条駅周辺での魅力創出や賑わい作りの取組につきまして、ここにありますように現状といたしまして、区民の方からいろいろと聞きます、USJ とかができたけども、なかなか区内にはその賑わいが回ってこないといったようなこともお聞きしておりますので、そういったことに対して、来年また万博が来ます。

でも、万博でも来訪者が予想されますが、同様のことが起こる可能性があります、ということと、取組としてはそういった西九条駅の乗降客というのはとても多いので、そういった来訪客を、特に阪神なんば線から JR の乗り換え、JR 内での乗り換えはホーム上で済んでしまっていますが、阪神なんば線から JR への乗り換える乗降客も結構おりますので、こういったところでですね、区の魅力とかを訴えて、区内の方に誘導みたいな形ができればというふうに考えております。

具体の取組ですが、ターゲットというのは、先ほど申しましたそういった来訪客で、仕掛

け作りといたしまして、JR 西九条駅の周辺のエリアで、そこから区内、例えば正蓮寺川公園とかアートプロジェクトとかもしておりますので、そういったところに足を伸ばしていただいて、その辺りの近隣のお店であったりとか、商店街であったりとか、そういうところに人が行くようになればいいかなと思っています。仕掛け作りとしては、まだちゃんとは決まっておりませんが、思わず撮影したくなるような SNS 映えをするような景観やインバウンドの外国人来訪者向けには、例えば日本文化や和をモチーフとした何かの取組ができれば、そういったアピールにもなるのかなというふうに考えております。こういった取組はいろんなところでもしておりますので、一例でいろんなところの取組を挙げております。こういったような取組で何とか西九条から少しでも区内に人を呼び込めたらなというふうに考えております。これは新たな魅力作りの取組の一つでございます。

続きまして正蓮寺川公園のアートプロジェクト、これにつきましても、新たな魅力作りの一つではございますが、今年の3月ですね、昨年度末にプロジェクトの方がアート作品を2体置きまして、稼働したところで、現時点での状況につきましてご報告をさせていただきます。

まず、このページに書いているのが経過ということで、先ほどと同じように USJ とかの来訪客というところもあって、区内での魅力発信を作っていかなければいけないというところから、アートプロジェクトを皆様方にいろんなお話・意見とかもいただきながら、当然この区政会議であったりとか、正蓮寺川・六軒家川環境整備推進協議会であったりとか、そういったところでも皆様のご意見をお聞きしながら進めてきてきました。昨年度末には、アートプロジェクトの構想を策定いたしまして発表させていただき、3月には2作品、此花水龍と万博ロゴシンボルを設置して、お披露目イベントも実施してきたところでございます。

ここでその経費についてご説明させていただきます。アート作品については此花水龍と万博ロゴシンボルいずれも1940万円の予算でやっております。あとそのPR経費であるとかイベント経費っていうのがそこに加わっているような形です。あと今年度につきましても今プロポーザルで業者の方が決まって、新たなアート作品というのを設置する予定になっております。これについても同様の、設置費としては1940万円で、お披露目イベントを加えてこの金額になっておりまして、予算の内訳といたしましては、此花水龍については寄付金ですね。寄付金と万博の重点予算というのを活用しております。万博ロゴシンボルと今年度のアート作品、こちらにつきましても、万博重点予算を確保して、設置をしておりますので、区の通常使うようなまちづくり推進費というか通常予算というのはここには入っていないということになっております。

続きまして、その設置したところの現時点での検証ですが、一つはそれをどれだけ周知して知ってもらえたかということで、インターネットとか SNS とかでも発表していますが、まず一つは此花区のホームページ、この構想を発表したときとか、真ん中の此花水龍のときとかでしたら、通常何百単位のところが桁が変わったような反響をいただいています。

特に此花水龍に関しましては、いろんな媒体での取り上げとかもお願いをしております、422 媒体であるとか、記者クラブでは 19 社の方に情報提供をして、実際、そのお披露目イベントのときには 16 社がこういったところのメディアとかが取材に来ていただいて、雑誌とかテレビとかいろんな形で周知の方を図っていただいたところでございます。此花水龍につきましては、此花水龍という作品のプロデューサーということで岡田准一さんになっていただいておりますので、岡田准一さんであるとか、あとはアーティストの小松美羽さん、この方々からも SNS 等で発表の方、周知の方をしていただいております、岡田さんにいってはいいいねとの反響が 5 万 7000 件あったところでございます。

続きまして、もう一つは人の流れというところで、GPS データによって人の流れを追っております。ただこれは、KDDI の携帯、au の携帯でのデータとなりますので、少し制限といたしますか、これで全体を図るということにはならないですけど、少しの参考になるかなと思っております。パブリックアート 2 体設置したというところで、令和 5 年 4 月からのその公園に来訪した数というのを拾ったのですが、小さくて見にくいですが、結果ですね、まだ始まってすぐということもありまして、現時点では来訪者とかの急激な増加は見られないというところが現時点です。ただ、これは今後も人の流れの調査・分析とかを図っていきたいと考えております。

現時点での評価なのですが、アート作品の制作とか設置とか、あとプロジェクトというところでいきますと、周知 PR としては、一定の成果を上げたと考えております。ただその人の流れというところでは、今現状ではまだ結びついていないので、今後引き続き分析等もしていきたいと考えております。そういったところでまず一つはアート作品の設置につきましては、今年度は 2 作品に続いてアート作品を設置予定となっております。来年度は万博が行われますので、これもまだどんな作品とか、どんなものができるかがわからないのですけども、万博会場のですね、何かモニュメントとかがありましたら、それを正蓮寺川公園に移設をしていきたいというふうに考えております。

ただ、ここは何か今そういう算段がついているというわけではありません。いろんな施設とかでどういうものができるのかもわかりませんので、できた段階でいろいろ交渉をしながら、できましたら万博のレガシーとなるようなものを移設できたらなというふうに考えております。

それ以降はですね、いろいろこのプロジェクト自体をいろんな方に知ってもらって、企業であったり団体であったりから寄付とかを中心に、作品の増設ということも図っていききたいと思っております。そのためにも、広報というところで、今後もイベント等の実施とか、あと周知とかもしながら、皆さんに知っていただいて、区と区民が一体となった取組を皆さんに知っていただいて、それに愛着を持ってもらって、これを長く続けていくような、そういったプロジェクトにしていきたいと考えております。

最後に、今のアート作品の設置とかは先ほど申しました寄付等でやっていくのですけれども、当然維持管理とかも必要となってきますので、当面の維持管理についてはどう考えて

いるかというところですが、こちらにつきましてはメガソーラーの寄付金というものがありまして、これは毎年300万というところで今後10年間続いてものがありますので、こういったところを当面は活用しながら維持管理の方を進めていきたいと考えております。私からの説明は以上です。

そうしたらですね、今の説明とかも踏まえて、これからグループディスカッションの時間に入ってまいりたいと思いますので、ちょっと担当の課長の移動とかもありますので、皆さまはそのまましばらくお待ちください。

それでは、それぞれのグループで各課長さん進行の方よろしくをお願いします。時間は19時半までというところで、意見をまとめていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(各班に分かれてグループディスカッションを実施)

【西川課長】

皆様、グループディスカッションお疲れ様でした。ありがとうございました。これからですね、班ごとの意見の発表・質疑応答に入ってまいりたいと思います。質疑応答につきましては、それぞれの担当課長の方から回答させていただきます。ただ将来ビジョンの各論については担当課長から回答させていただいて、総論部分につきましては、最後にまとめて区長の方から一括で回答させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは浦野議長、全体会の進行どうぞよろしくお願いいたします。

【浦野議長】

それでは全体会を再開いたします。これより行う全体会では、先ほどのグループディスカッションで集約した皆様のご意見の発表や、その他この場でお聞きになりたいことを発言していただくお時間となります。ご発言の前には、ご自身のお名前をおっしゃってからご発言いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。また、ここからは各行政機関からもオンラインでご参加いただいております。紹介は割愛させていただきますが、名簿をご参照ください。なお、各担当部署からの説明および回答につきましては、時間の都合上、自席から回答させていただくことをご了承ください。

それではまず、地域づくり・防災班から進めてまいります。重点目標まちづくり・防犯・防災に関して、地域づくり・防災班の方はグループディスカッションで話した内容などを全体にご共有ください。代表の方はよろしくお願いいたします。

【山田委員】

まちづくり・防災班のグループの発表をさせていただきます。私、山田と申します。私ど

もの班では意見交換をした結果、5点について発言させていただきます。

主に地域づくりから始めたので、防災の方に時間がちょっと取れなかったんで、一応地域づくりということの重点ということにさせていただきます。

まず1点目、住むなら此花区だけで良い、SDGs先進区はいらないのではないか、此花が良いだけで良いのではないかという意見がございました。これが1点目です。

2点目、西九条駅の拡大、JR・阪神ともにですね、西九条駅の拡大を求めるべき、特に千鳥橋・西九条駅周辺の開発、ファミレスがもう一軒もないじゃないかという意見が出ました。

3点目、此花水龍・ミyakミyakが設備投資先行のみでボツンとしている、そこに行くアプローチの改善がない、子どもたちのマラソン大会など住民参加型のものが必要だと考える、正蓮寺川公園に防犯カメラが必要ではないか、という意見が3点目でございます。

4点目が町会に関してなんですが、町会加入のアクションプランは、チラシ配布だけでは効果が薄いと、地域の活性化が一番重要、町会加入のメリット・魅力の提示が少ないということの意見が4点目でございます。

5点目が、住民近くの高層ビルや、市営住宅も避難可能となるよう取り組んでいただきたい。ちょっと具体的にはなっていないんですが、この5点目が少し防災に関した意見でございました。以上5点です。よろしくお願いいたします。

【浦野議長】

はい、ありがとうございます。発言に対する回答を区役所の方からお願いいたします。

【西川課長】

総合企画担当課長の西川です。今5点いただきました。最初の方の、住むなら此花区、SDGs先進区であるとか、西九条駅の開発、大きなエリア開発のことになりますので、これは総論ということで、最後まとめて回答をさせていただきます。

3点目の此花水龍・ミyakミyakのという話で、あそこに行くアプローチの改善とか、防犯カメラとかいったようなところですね、この辺り当然ご意見ももっともだというふうに考えております。防犯カメラですが、今もまず1台はちょうど作品のところを映すような形でつけておりますが、今後正蓮寺川公園の開発が広がっていく中で、防犯カメラについても当然増やしていく必要があるかなと考えております。ただ、電源自体を外から引いてこなきゃいけないとか、いろんな課題がありますので、今いただいた意見をしっかり検討しながら、安全対策についても考えていきたいと思っております。

アプローチというところも、区の中への誘導とかにも繋がっていくのですけれども、その辺りも課題と認識しておりますので、そこも改善等ですね、どんなことができるかということも含めて、今後検討してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【河野課長】

こんばんは。まちづくり推進課長の河野でございます。町会加入アクションプランの件で回答いたします。

経過も含めてご説明させていただきます。大阪市におきましては、最も身近な地域コミュニティでございます、町会への加入世帯数は減少を続けておりまして、加入率の低下に歯止めがかかっているとは言い難い状況が続いており、地域コミュニティの維持活性化を目的として、令和6年3月に大阪市町会加入促進戦略というものを策定いたしました。

一方で、区や地域ごとにその特性が異なることから、それぞれ効果的な加入促進策については、地域特性に合った手法が求められるということで、各区24区で、それぞれプランを作っていくと、此花区におきましては、此花区町会加入アクションプランというのを策定し、町会等の取組支援を行い、町会等と共同で加入率向上に取り組んでまいりたいと考えております。

いただきましたご意見についてはこれからですね、ヒアリングというか地域のお話をお聞きしながら、此花区のアクションプランを作成してまいりたいと思います。今日賜ったご意見、また今日来ていらっしゃる町会の方もたくさんいますので、聞いて回って、皆様にとって町会加入に繋がるようなプランとしてまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

【迫課長】

引き続きまして、此花区危機管理担当課長の迫と申します。いただきましたご意見、住民近くの高層ビルや市営住宅の避難可能となるよう取り組んでもらいたいというご意見をいただきました。ありがとうございます。現在、此花区では107つですね、津波避難ビルの指定がございます。高齢者等や車椅子の方、障害をお持ちの方などの避難の利便性の向上のために、より多くの津波避難ビル施設の指定が必要だと考えております。おっしゃる通りですね、地域にお住まいの皆様方に、これからそのようなお声を届けていただき、私達も聞いてですね、区役所の防災担当としても、そのビルとか市営住宅の避難ビルの指定ができますよう、働きかけてまいりたいと思っております。

あとですね、この場をお借りしまして、前年度区政会議の中で意見をいただきました、ボート購入の件でございますけれども、今ですねそのボートを購入するために動いております。入札制度による調達となりますので、現在その入札の価格の算定ですとかを、業者の方に見積もりを徴収するなど、取り組んでいるところでございます。今年度中のできるだけ早い時期の購入に向けて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

【浦野議長】

ありがとうございます。それでは、皆様の中で、まちづくり・防犯・防災についてご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。無いようでしたら、次に進ませていただきます。続きまして、重点目標、健康・子育て・福祉に関して、健康・福祉班の方は、グループディスカッションで話した内容などを全体にご共有ください。よろしくお願いします。

【角林委員】

失礼いたします。健康・福祉班の角林と申します。私達の班では、意見交換をした結果、大きく分けて次の３点について、お話をさせていただきました。

まず最初のパワーポイントの将来ビジョンのお話を聞かせていただいても、なんかすごく前途洋々な華やかな話題が先行しておりましたけれども、やはりそれとまた並行して、例えば子どもの虐待について、虐待を受けて本当にしんどい思いをしている子どもたちがたくさんいるというのも、それはもう数は減らないものであります。例えば、虐待を見つけたときに、学校なり役所なりに相談します。そのときにどう動いていただけるかっていうのが、やはり何度か私もそういう場面に遭遇して、途中でケースによってはやはりこれ以上介入しにくいってケースがあったりとか、親がもう大丈夫って言ったらもうそれ以上介入できないというようなケースもあります。何年もたつてずっとやっぱりその子どもは心の傷を受け続けて、もっと大きな傷になっているっていうことに遭遇したこともあります。誰がこの子を助けてあげられるのか、というジレンマにすごくいつも悩まされているので、そういう話について皆さんでお話をさせていただきました。

次の点は、先ほどの此花水龍とかのことにちょっとダブルなんですけれども、正蓮寺川公園に此花水龍とかを見に行ったときに、暑すぎてもういられないという意見が出ました。正蓮寺川公園自体に日陰がないので、熱中症対策を何かできないかという、パラソルだったらそんなんにお金かからないのでパラソルを設置していただくとか、もうこれから夏になったらもうとんでもない、もう本当に滞在できないんじゃないか、というような意見が出ました。

三つ目の話としては、例えばスポーツイベントであつたりとか、区民まつりであつたりとかってイベントの、告知の仕方をどうしていったらいいかという話が出ました。スポーツ推進委員の方もいらっしゃるんですけども、先日されたイベントもやはりあまり参加者がいなかったということで、どういうふうに発信していったらいいかという意見が出ました。以上です。

【浦野議長】

ありがとうございます。発言に対します回答を区役所からお願いいたします。

【西川課長】

総合企画担当課長の西川です。まず私の方からは２点目となりました、正蓮寺川公園の熱中症対策というところで、確かに委員のおっしゃるように、なかなか日陰がなく、すごく暑いというのはおっしゃっている通りでございます。植樹とか、桜とかを植えたりもしてい

るのですが、なかなかまだ成長しきっていないといえますか、まだまだ低い状態で葉も茂っていないので、それ自体が日陰にもならないということもありますので、おっしゃったことは非常に大切で大事な事かなということを考えておりますので、こういった熱中症対策ですね、日陰が作れるのかということも含めてですね、今いただいた貴重なご意見は参考にして、区の方でも、公園ということなので、管轄が建設局の方にもなりますけれども、建設局の方とも相談しながらですね、こういったことができるかというのはまた考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

あと、スポーツとか区民まつりとかの、広報の関係ということなのですけれども、そういったものに関わらず広報では、SNS といったことも含めて、今回土台にしておりますのが、伝えるではなくて伝わる広報ということで、皆さんに伝わらなければ意味がないというところで、当然紙媒体でも、広報誌の方も充実させていきながら、あらゆる世代の方に伝わるようにしていきたいというふうに考えております。広報誌は各戸配付でやっているのですけれども、その充実も考えながら、区としては LINE にも力を入れていこうとしております。LINE の方は登録していただきますと、プッシュ配信ということで、もう皆さんでしたら、スマートフォンをお持ちの方も多いので、その手元に情報が届くこと、通知があれば目にさせていただけるといったようなことで、その LINE 配信についても、ぱっと見てどういう情報なのか、自分に関係があるのか、興味を持って見ていただけるのか、といったようなところを画像とかも工夫しながら、3 秒で概要がわかることを心がけながら、そういった SNS 等を活用しながら、皆さんに伝わるような広報に、今後とも努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、広報についてのいろんなこういったやり方をしたらいいのではというような意見ともいただけたら、大変ありがたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。この2点については私の方から回答させていただきました。

【花田課長】

引き続きまして保健福祉課長の花田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ご意見いただきましたようにですね、福祉課題への取組、非常に重要であるということはおもってもだというふうに考えております。また子どもの虐待につきましてもですね、子どもが深い傷を負って将来にわたってですね、その子の人生に影響を与えるという意味で言いますと、子ども虐待というのを防ぐと、軽い段階で防いでいく、あるいはなくしていくといったことは、非常に重要であるというふうに考えています。此花区では重大な児童虐待件数0件ということを目標に掲げて、こちらの方は維持しておるわけですが、こういった死亡に至るあるいは重大な後遺症も残るというような重大な虐待は0でございますが、もうちょっと細かいといえますか、日常で起こるような虐待というのは、引き続き発生をしておるということでございますので、虐待を私どもの方で認知したときにはですね、専門職も含めたチームでですね、虐待を受けた子ども、あるいはその家庭に対する支援というのに

全力で取り組んでまいりたいというふうに考えております。

また虐待にそもそも至る背景にはですね、やはり家庭的な問題、難しい問題がいろいろございまして、必要な支援が必要な方に届くといったことも重要であるというふうに考えておりまして、そういった点でも未然防止という点ではですね、取り組みを強めてまいりたいというふうに考えております。

またですね、区役所とそれから区の社会福祉協議会で連携して取り組んでおるんですけども、気にかける地域づくりといったことで、今私どもの方で呼びかけているものがございます。気にかける・繋がる・支え合うということで、児童虐待だけではございませんけれども、街の中で住民の様子あるいは子どもの様子ということで気になることがあれば、関係先にご連絡をいただきたいということで呼びかけをさせていただいておりますので、また皆さんのところでもそういった事例がありましたら、区役所あるいは社協の方にご一報いただけたらというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【嶋村課長】

保健担当課長の嶋村と申します。

先ほど、スポーツイベントや 100 歳体操など、健康についての周知がなかなか難しいというお話をいただきました。現在、区の方でも、チラシ・ポスターの配布や、SNS での周知を行っておりますが、なかなか難しいと認識しているところでございます。

100 歳体操だけでなく、検診についても周知が必要だというふうに考えておりまして、直接発信するため、地域に出向いて血管年齢測定を行う機会を増やし、その際に 100 歳体操などの運動や検診等について周知していこうと考えているところでございます。

まず自分自身の健康について考えていただくためにも、啓発方法については検討していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【浦野議長】

ありがとうございます。それでは、今の回答いただいた中からでも結構ですけども、健康・子育て・福祉についてご意見ありましたら、お願いします。

よろしいでしょうか。そしたら次に進めていきます。

重点目標、環境・教育・子どもに関して、子ども・環境班の方はグループディスカッションで話した内容などを全体にご共有ください。よろしくお願いいたします。

【佐竹委員】

子ども・環境班の佐竹です。よろしくお願いいたします。

まず私達の班の将来のビジョンについての部分ですが、区に住む 1 人として此花区は本当にたくさんの魅力があると思っていますが、アピールすることが少し、そういう発信力というものが弱いのではないかという意見が出ました。もっと積極的にアピールする必要

や機会、そういったことが重要ではないかという意見が出ました。

続きまして、そのビジョンの中で問題点として現在の此花区の人口減少の話が出ましたが、人口減少についてですが、区の行政レベルでどうなる問題ではないのかなという意見が出ました。もしかしたら市・府・国というところの行政の検討課題ではないのかなということです。まずそういった人口減少を問題にするのではなくて、まず此花区の魅力を発信することによってそのことによって人口に歯止めがかかったり、もしかしたら人口増に繋がればいいのではないかという意見が出ました。

私達のこども・環境に向けての意見ですが、子どもや区民に向けたイベント開催時、広報媒体として広報このはななどを活用していますが、インスタなどの活用が必要で、SNS だけではなくて、紙媒体での広報活動なども必要ではないかという意見が出ました。そして子どもを集めるために、そういったことも難しいので、例えば子どもというところで学校と連携したり、学校に協議をしたり、また協力を仰いだりということが必要ではないかという意見が出ました。

あと、皆さんの意見から出ている正蓮寺川公園の部分なんですけども、モニュメントなど、あぁいった SNS 映えするものもとても大事だと思うんですが、子どもを集めるためには、小さな子どもたちが遊べる、例えば水遊びができるような場所を作ってはどうかという意見が出ました。イメージとしては以前、下水道科学館にあった、あぁいう水遊びができるようなスペースっていうものはどうだろうという話も出ました。

あと、ちょっと会議と離れるんですけど、残り 10 分という話が出たときに少し議事を止めてみんなで話し合いました。そうするとなんかやっぱり、区政会議という公式な場ではない、ちょっと一歩離れたような立ち位置になって、すごいいろんな意見が出ました。今区長が進められていると思うんですけども、いろんな此花区にある各種団体の方を回られてその方とヒアリングしたり意見交換をされてるということなんですけども、そういったところのフランクな場での意見っていうものも、もしかしたらこの区政っていうものに反映していただければ、もう少し柔らかい雰囲気での区政、ご意見っていうものをひらえるのではないかなと。その議事をとめた話し合いを見て感じました。子ども・環境班からは以上です。

【浦野議長】

ありがとうございます。発言に対する回答を役所の方からよろしく願いいたします。

【西川課長】

総合企画担当課長の西川です。

まず 1 つ目と 2 つ目ですね、此花区にはいろんな魅力ある場所があるけども、なかなかその魅力をアピールする機会、発信力が弱いのではないかなといったようなご意見いただきました。2 点目のなかなか人口減というところは、このレベルでは難しいという話がありまして、まずは此花区の魅力をどんどん発信して行って、結果そういったことがいように転が

っていけば、というようなご意見をいただきましたので、それは区の方も同様に考えております。今回の将来ビジョンでもですね、そういったところを重点的に考えておりまして、此花区のいろんな魅力を皆さん知ってもらって、今おっしゃられたように、すごくいいところがいっぱいあります。他の区とか地域にはないようなところもいっぱいあると思いますので、そういったところをどんどん皆さんに知っていただいて来ていただく、そういった取組は進めていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

あと広報の関係で、周知とかを SNS でも力を入れていくということで申し上げましたが、一方で当然紙の媒体も大事だと考えております。区民もいろいろな世代の方々がおられ、先ほども申しましたが、あらゆる世代に伝わるということを目指していきますので、当然紙の媒体、広報誌とかを無くしていくということではなくて、そちらも充実させていただいて、SNSの方が、情報が伝わりやすいという方につきましては、当然 SNS でも力を入れていく、紙の方が、情報が伝わりやすいという方については、広報誌も充実させていくといったような形で、区民の皆さんに伝わるようなことを取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あと正蓮寺川公園のことだと思いますが、そこに今アート作品の設置ということをやっているのですけれども、子どもが水遊びできるような施設をとのご意見をいただきました。正蓮寺川公園は、最終的には 2.5 キロの長さの公園になっています。まだ完成している部分というのは 1 キロになっておりまして、ここから先、上面のですね、公園の開発が進んでいく形になりますので、そういった中で計画としてはゾーニングをしながら、子どもが遊べるゾーンであるとか、スポーツゾーンであるとか、いろんな計画もされていますので、今後どうやっていくかというところは、皆様方の意見も聞きながら、建設局とも協力しながら、皆さんに喜んでもらえるような、公園となるように検討を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。私の方からは 3 点、以上となります。

【生駒課長】

教育支援環境担当課長の生駒です。3 点目の子どものイベント開催時等の、学校との協力した広報の件について、ご回答いたします。

小学生・中学生でいいますと、スマホを学校には持って来れないですし、長時間のスマホについて控えるというようなこともあります。それから、特に小さいお子さんは紙で持って帰って保護者の方に見ていただくというようなことが大事ですので、学校を通じた広報というのは効果的かなと思っております。枚数が全児童数とか全生徒数ある場合には学校の方でお配りいただける場合もありますし、またどちらかといえばインパクトがある方がいいという場合はポスターを貼っていただくという協力も可能です。

それからですね、今コロナ禍の中でですね、子どもたちの健康状態を学校が確認しやすくするためのアプリが入りまして、大阪市内で今ミマモルメという名前のアプリが入ってるんですけども、これはですね、各ご家庭がそのアプリ入れていただいて、お子さんの状態を学

校に伝えるのがメインなんですけれども、そのアプリには学校側から情報を伝えるという機能もありまして、例えばそのポスターやチラシをPDFにまとめて発信するというのもしていただけるようになっています。紙にせよPDFにせよ、学校側からの情報があまり多すぎると保護者の方も情報選択が難しいとかいうようなこともあって、必ず100%届いてるかどうかというようなことはあるんですけれども、内容とそれから場合によって手法を使い分けていただいて、必要に応じましてこちらの方で校長会などで、よりですね学校の方にそれが伝わるようお願いするような機会も設けて間を繋いでまいりますので、よろしくお願いいたします。

それから5点目におっしゃいました、区長と各種団体との意見交換で、これあの全団体でやるということではなくて、今たまたまその団体さんと話してるときに、あるいは区長とこういうところであの意見交換いるよねというようなことが出てきた団体さんと、意見交換をいくつかさせていただいておったり、また計画をしております。そういった場でですね、出たご意見の中でですね、例えば団体でやっている活動と地域との繋がりですとか、あるいは学校との繋がり、といったようなことを聞かせていただいて、それは私学校の方も担当しておりますので、今後ともですねその団体と学校との繋がりについて、区役所として支援していければというふうに思いますし、メモにまとめて区長を初め区役所の中で関係部署に要点繋いでいただきながらですね、その意見交換だけにとどまらずちゃんとフィードバックしていければというふうに思っております。私の方からは以上でございます。

【浦野議長】

ありがとうございます。それでは皆様の中から、環境・教育・子どもについてご意見ございましたらよろしくお願いします。

よろしいでしょうか。それでは、最後になります、伝わる広報・新たな魅力づくりに関しまして、魅力発信班の方はグループディスカッションで話した内容などを全体にご共有ください。よろしくお願いします。

【西村委員】

魅力発信班の西村でございます。よろしくお願いいたします。主に5点ですね、話し合いました。

まず此花区の魅力っていった点なんですけれども、千鳥橋・西九条界限では非常にスーパーが多くて住みやすく便利であるというふうな、こういう便利さといったものを、外に向けて発信がちゃんとできているのだろうか、といったところに関しての意見が出ました。一方でですね43を超えると非常に交通的に不便になってくるというふうなところで、例えば隣の区とかでやっているキックボードとか、そういった新しい乗り物を導入してはどうかと、こういった乗り物の利点としては寄り道ができる、電車ってのは乗ったらなかなか降りれないんですけども、キックボードとかですと寄り道をしてどこか此花区内のところにお店

に行きたいということで、回遊性が非常に向上するんじゃないかというふうな意見が出ております。ただですねこういった交通インフラというものに関しては、鶏が先か卵が先かという議論がよくあるんですけれども、なかなか持続性というのが非常に難しい、厳しいという面がございますので、此花区内に大きい企業さんがいくつもございますので、そういった企業の方に支えていただいて、街のインフラ作りができないものか、というようなことが話として出ております。

あともう一つ、移動ということにはやはり目的地がどこかというところがついて回りますので、例えば区内でいくと今力を入れているアートであったりとか、舞洲の方であったりとかそういったものを武器にしてですね、発信して行って、そういった目的地というものをきちんと作っていかなければならないというふうな意見も出ておりました。

最後にですね、こういった此花の今後作っていくべき魅力というものに関しましては、今此花に住んでいる子ども、また子育てをしている保護者世代の方々に話を聞いて、これからも住みたいと思えるより良いまちづくりというものをしていければというふうに考えています、というふうな意見が出ております。以上でございます。

【浦野議長】

ありがとうございました。発言に対する回答を役所の方からよろしく願いいたします。

【西川課長】

総合企画担当課長の西川です。今5点いただきました。

発信ができていくかというところで、先ほど別の班からもありました。此花区内にはいろんな魅力ある場所があるけども、なかなか発信ができていない、それは区役所の方も課題だというふうに考えておりますので、今後、皆様に喜んでもらえる、外からも人に来てもらえるように発信に努めてまいりたいと考えております。

あとですね、キックボード等区内の移動手段ですね、そういったところを充実させていくということで、回遊ができるというところ、これは区役所の方もその通りだというように考えておまして、今回の将来ビジョンでもですね、いろんなエリアがありますけども、そのエリアに誘導して区内を回遊していただけるような、そういったことにも取り組んでいきたいと思っております。その中で、やはり電車とかバスというところでは、なかなか途中で目的地がいくつもあっても途中で降りてという形が難しいかなと思うところもありますので、気軽に、手軽にいろんな場所に立ち寄ってもらえるようなキックボードであったりとか、シェアサイクルであったりとか、そういったものが必要であるというところは区としても認識しておまして、シェアサイクルについては実証実験も行っているところではございます。

あとですね、そういったところの持続性ということで、結局キックボードであっても、シェアサイクルであっても、区役所として行政としてそれを動かしているわけではありませ

るので、企業の方にそういった設置とか運営をしていただいて、企業として取り組んでいた
だっているものでございますので、そこを支えるような仕組みを区内の企業等というよ
うなお話もありました。そういったことも含めてですね、将来ビジョンでも行政でやるこ
とといたしますのは、当然お金もあつたりとか権限もあつたりとか、限られておりますので、
官民共創、ともに作り出す民民共創というところを、ビジョンの中でも記載させていただ
いております。そういった官と民が、民と民が、自分の強みを生かして連携することによって、
いろんな課題解決を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

あと目的地というところで、先ほどの回遊等もありますけども、目的地がいろんなところ
にあれば、当然その目的地を目指して行って、今は目的地がちょっと離れている舞洲まで遠
いということもありますので、中にも目的地を作っていければ、一つ先の目的地まで行く、
ここまでできたらもう一つ先まで行こうか、といったようなところで、目的地となるような
場所が、区内に魅力的な場所が、いろいろ作り出していきますと、回遊もしていただけるの
ではないかと思っておりますので、そういったことにも取り組んでまいりたいと思ってお
ります。

あと将来ビジョンにもありますように、人に住んでもらうというところで、これから此花
区を背負っていただくような、子どもであつたりとか、子育て世代であつたりとか、そう
いったところの意見をお聞きするのは非常に重要だというように考えております。そう
いった意味も含めて、伝わる広報の中でも LINE にも力を入れておりますが、LINE につ
いてはそういった世代にも伝えていけるものと考えておりますので、そういった世代にも
伝わるように広報にも力を入れていきますし、あとそういった方々が集まる場所など、区
としても積極的にいろいろな意見をいただきに行きたいとも思っておりますので、どう
ぞよろしくお願いいたします。私からは以上です。

【浦野議長】

はい、どうもありがとうございました。

それでは皆様の中で伝わる広報・新たな魅力づくりについて、ご意見ありましたら
お願いします。

よろしいでしょうか。そうしましたら、全体をまとめたような形で区長の方から
ご意見・ご回答をお願いしたいと思います。

【中島区長】

そうしましたら、私の方から今までお答えしてないところを中心に、お答えさせ
ていきたいと思っております。

まず、地域づくり・防災班のところで、住むなら此花区で SDGs 推進区は
いらないのではないかということで、区民目線からしたらもっとわかりやすい
言葉、例えば健康にもっともっと特化していきますよあるいは環境に特化
していきますよ、これが一番わかりやすいか

なというように思ってます。ただ一つちょっと SDGs という言葉をあえて入れました。なぜかと言いますと、実は企業を巻き込みたいからです。企業の人は結構 SDGs、あるいは SG やとかいう ESG 銘柄や、環境ですとか、ソーシャルとかそういうところに特化してる銘柄が非常に注目されてるところがあります。そういう意味でどちらかというところ企業向けに巻き込みたいという趣旨から入れさせていただきましたし、区民の方にはもう少しわかりやすい言葉で説明させていただいた方がいいなと思ったところでございます。

それから西九条駅のところなんですけど、拡大、エリア開発みたいなのところ、なかなか区がそんなに土地を持っているわけでもございませんし、この辺はできるだけやっぱり企業を巻き込んでいかなければいけないなと思ってございます。その中で私一つ、これからどんどんこの言葉を使おうかなと思っているところが、西九条が、結構湾岸エリア、まさに一番最初に言いましたけども、リゾート施設・アウトドア・スポーツ観戦、いろんな施設があるよねと、本当に関西 No.1 と言っても過言じゃないぐらいあるかわからんね、っていうことなので、その玄関口という言葉が発することによって西九条ももっともっと注目を浴びさせるということも、一つの開発の手法かなっていうふうに思っています。ぜひこの辺は、情報発信というところを中心にやっていきたいと思ってますし、JR 西日本とも話しておりますし、それからまた駅の拡大ということで敷地の問題・お金の問題ということもあり、結構これ民間企業だけでなくて鉄道の駅を広げるときは、国あるいは地方自治体の投資というところ、ここを巻き込んでいかなあかんところがありますんで、ここにいらっしゃる先生方また国会議員の先生方、この辺ともいろんな話を今しておるところでございます。

あとそれから、二つ目のところの健康・福祉班のところでございますが、華やかな話も大切であるが福祉の課題も大切、私もその通りだと思ってます。やっぱり福祉、それから安全安心、ここがなかったらやっぱりその地域で生きていけへんよねっていうところかなと思っております。そのベースがある上に、華やかな話があるところが大事かなと思ってますんで、この辺の土台というところはしっかりやっていきたいなというふうに思っております。

それから、子ども・環境班のところ、魅力発信することから人口減少対策へ、これはその通りだと思います。ただ一つやっぱり忘れたらあかんというところが、ほとんどの日本の市町村、区もそうですけど、人口が減っているような形になっています。そうしましたときに地域間競争になるよねと、やっぱりどこに住むかとなる。大阪市でも結構やっぱり中心部はまだ人口は伸びています。ところが残念ながら周辺部はほとんど減ってるよねという形の中、その中でもあの魅力を伝えていけば、そんなすぐに回復するとは思ってませんけれども、やっぱりそこが踏みとどまれるところができるかなというような、希望持ててきたらなと思ってるところでございます。

あとそれから正蓮寺川公園の話が結構出てましたので、ここについてはですね、私は区民の宝となるような正蓮寺川公園にならんとあかんのかな、とそれが区民の方が住みたいと思う街になるところかなと、大切な場所だと思っていますので、できたらこの区政会議でも、ぜひ一度この正蓮寺川公園についてはしっかり議論していきたいなと思ってございます。

よろしくお願いいたします。

それと私が各種団体に行って、いろんな話ということなんですけれども、実は浦野議長と、明日民児協理事会があるんですけども、そこでもちょっとこのような話を、その場でどれだけ議論するかというのはあれですが、持ち帰ってもらって、ぜひ意見あったら伝えてくださいよと、連長会なんかでもやりたいと思ってますし、私もいろんなところに行くんで、その中でこれもお話したいなと思ってます。また私だけじゃなくてですね、各課長もですね、行くときには、この話題を持って行って、全ての話題となると広すぎるかわかりませんが、そこに関係するところの話題、そこについてはしっかり議論して、この方向持って行ったらいいよねみたいところで、みんなでビジョンを作り上げる。それで実行段階もみんなで実行するというような、自分たちで作ったビジョンを自分たちで実行するみたいところ、これがぜひ今後も多くの皆さんを巻き込んでやるのが大切ななと思っているところでございます。

あとそれから魅力発信班のところでもございますけれども、交通手段のところでキックボードの話が出ました。実は私今、福島区に住んでおんですけども、シングルルーム中心のワンルームマンションなんですけども、実は私入居しましたとき、駐輪場っていうのは、ほぼ満杯でした。ところがですね今、駐輪場三分の一も埋まっていません。それで住んでおられるのは非常に若い方、福島ですから单身者が多いんですけども、单身者のところに限っては本当に自分で自転車を持たないようになったよねというくらい、ここコロナ禍ですごく変わってきたなと思っております。ところがですね、福島区でもですね、ファミリーマンションについては、相変わらず自転車多めっていうところもあります。結構この辺、まさに街に住んでいるのがどんな人かというのを見ながら、この辺が有効なところは、企業の皆さんと一緒に仕掛けていけたらいいなと思ってるところでございます。

あとそれから交通のところ、交通が先か目的づくりが先か、というところの中で一つ思いますが、今後一つ大きな別れ道があるのが、舞洲地区それから常吉地区かなと思っています。JRさんの夢咲線ですね。これが、当初は舞洲を回ってそれから夢洲に行くよという構図だったのが、今、例えば夢洲に直通でいいとなった時、ここでカットされる部分が、舞洲・常吉のエリアかなと思っています。舞洲・常吉のエリアがカットされてしまうと、やっぱりその前の地域というかその周りの地域、やっぱりなかなか交通、なかなかアクセスは改善しないよね、というところありますんで、一つ仕掛けたいなと思ってますところは、舞洲・常吉地区いろんな一つひとつの魅力的な施設があるんですけど、総合的にですね、いくつかの企業さんに集まってもらってもっともっと魅力づくりをしてもらうことで、相乗効果にならへんかな、この辺はいくつかの企業さんに働きかけていきたいなと思っているところでございます。

全てのことをですね、回答できたかどうかかわからないんですけども、もし何かあったら、言っていただきましたら、お答えの方させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【浦野議長】

ありがとうございました。区長から、締めでもない、まとめでもないと思うのですが、ご意見頂戴しました。このことに関して何かございましたら、また今日その質問を書く用紙も皆さんの目の前に置いてありますので、またそれに書き込んでいただいても結構かと思います。

それでは、次に入らせていただきます。区制 100 周年事業について、事務局より説明をお願いいたします。

【桑田課長】

総務課長の桑田でございます。私からは、此花区制 100 周年に向けて、案のご説明をさせていただきます。時間の関係上、簡潔にご説明をさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

お手元の資料 2 ページをご覧ください。令和 7 年 4 月 1 日に此花区政が 100 年を迎えることを記載しており、区民の皆様が参加できる形で取り組んでまいりたい旨を記載しております。

3 ページ、4 ページをご覧ください。まず 100 周年事業のポジションでございますが、一過性の取り組みとするのではなく、先ほど将来ビジョンからのご説明もいたしましたが、区制 100 年を契機に、より素晴らしいまちにするために進んでいくきっかけとしてまいりたいと考えております。進め方といたしまして、一つは、大阪関西万博・此花万博と繋がる取組、もう一つは区民の皆様と繋がる取組としてまいりたいと考えております。

5 ページ、6 ページをご覧ください。先ほどの 3 ページ、4 ページの考え方に基づく具体的な取組の項目を記載しております。大阪関西万博と連携した取組といたしましては、万博開催期間のうち、特定の期間に、同じく区制 100 周年を迎える区と連携いたしまして、具体的な内容はまだこれからで、相当の幅を持って変化する可能性がございますが、出展について構想中でございます。

また、万博の機運醸成の取組の一環であるこのはな万博 Vol.3 との連携や、正蓮寺川公園に展示するためのフォトモザイクモニュメントの他、此花区制 100 周年のロゴマークや標語の募集も進めております。区の広報誌でございます広報このはなにおきまして、100 周年に係る記事を連載中でございます。

7 ページから 9 ページまでは、参考といたしまして、広報このはなの掲載状況を添付しております。

10 ページでございますが、100 周年記念のロゴマーク・標語についてまとめております。地域の皆様と区役所の共同体であります、此花区制 100 周年記念事業検討実行委員会を組織いたしまして、地域振興会からは岩井様、区政会議からは浦野様、PTA からは西村様の他、区社会福祉協議会より川口様の参画も得まして、区役所より区長も入りまして、ロゴマ

ーク・標語の応募に係る選定のための会議を今後開催していくなど、地域の皆様とともに、此花区制 100 年、またそれを契機とした、より良い此花に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、フォトモザイクモニュメントの作成など、此花区制 100 周年に際しまして、この間、地域の皆様からご寄付をいただいております。この場をお借りいたしまして、厚くお礼を申し上げます。引き続き、地域の皆様とともに進めてまいりたいと考えておりますので、お力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、説明は以上でございます。

【浦野議長】

はい。ありがとうございます。それではただいまの区制 100 周年事業についてご意見がありましたらお願いいたします。

【井元委員】

伝法の井元です。ずいぶん前に NHK のラジオ体操番組からですね、この此花区のいいところってということで、伝法のコミュニティグラウンドに NHK のラジオ体操の朝の番組が来まして、20 数年前にやったんですが、これ 100 周年に向けてですね、正蓮寺川公園に NHK のラジオ番組ですね、盛大にやったらどうかなとも思いますけどもいかがでしょうかね。

【桑田課長】

総務課長の桑田でございます。ご意見ありがとうございます。

100 周年の考え方といたしまして、第 1 弾ではフォトモザイクモニュメント、現在第 2 弾といたしまして、ロゴマークと標語を進めておりますけれども、もっと 100 周年を盛り上げていきたいと思ひますし、一度やって終わりということではなくて、レガシーと言ひますか、何かやったことがですね、101 年目 102 年目と 110 年目となつてもですね、何か残るような形に何か取り組めないかと思ひておりますので、もうこれだけということではなくてですね、何かできることがないかということで、今後とも幅広く検討してまいりたいと思ひますので、またご意見頂戴したいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【浦野議長】

はい。よろしいでしょうか。

【井元委員】

はい。

【浦野議長】

他にございませんでしょうか。

それでは、先ほどからいくつか意見が出ておりますが、イベントの参加者が少ないとかいう話もありますので、ぜひ告知方法を検討していただいて、できるだけね、たくさんの皆さんが参加できるようなイベントというものを考えていただければというふうに思います。

それでは次にいきます。その他、全体を通してご意見等ありましたら、お願いいたします。よろしいですか。それでは最後に区長の方からお願いいたします。

【中島区長】

皆さん今日は長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございます。また、いろんな機会にビジョンというのを皆さんと議論したいなと思っていますし、今日いただいた課題の中で、今後また一つの大きな課題として、この区政会議の中でも、正蓮寺川公園の今後ですとか、こういったところを議論していきたいなと思っています。ぜひ皆さんの忌憚のない、活発な議論をいただければと思っていますので、よろしくお願いします。より良い此花区を作っていきたいと思っていますので、今日はどうもありがとうございます。

【浦野議長】

中島区長、ありがとうございます。それでは時間もいい時間になりました。中のディスカッションの時間がね、短くなって忙しくて、大変だったと思いますけども、他にご意見などある方、先ほどちょっと言いましたけども、手元の封筒の中に此花区政に関する意見票がありますので、後日その返信用封筒で事務局まで提出していただければと思いますので、よろしくお願いします。

以上で議事を終わらせていただきます。続きまして、議員の皆様からご助言を頂戴したいと思います。たけち市会議員、いかがでしょうか。

【たけち議員】

皆様大変長時間にわたりお疲れ様でした。また活発な議論をありがとうございます。私の方からですね、時間もだいぶ長くなっておりますので、2点だけお伝えさせていただけたらと思っています。

本当に此花区ですね、新しい計画というか、区長中心に進められているということで、最重点目標等も見させていただいてるんですね。官民共創また、民民共創というような、この視点は本当に大事だなと思っています。これをね、今最重点目標のところで、新たな魅力づくりというところに入ってるわけなんですけれども、例えば教育・子どもだったりとか、あるいはまちづくりだったりとか、いろんなところにも共通して必要になってくるところだと思います。例えばですね、地域のまちづくりで、地域活性化っていうところになると、此花区は人口6万5000人ですけども、中間人口は8万6000人、2万人増えるわけなんです

よね。今後、少子高齢化社会ってなってくると、やっぱり高齢社会だからこそ、この中間人口にも目を向けていって、いろんな地域の企業の方々も一緒にですね、いろんなまちづくりだったりとか、あるいは防災・安全だったりとかいうところにも協力していただく、健康福祉ももちろんです、いろんなところに協力していただくというような機会も大事だと思っています。

この視点を入れていただいた方がいいかなというふうに感じたところですね、あと皆さんの活発なご意見の中でですね、それぞれの班に共通していたところが、子どもっていうところが出てきてたんです。いずれの班からも子どもに対しての意見が出てこられておりました。此花区の未来を担う子どもたちというところの視点もですね、それぞれの目標に共通していくことかなと思っていますので、その点も含めて今後の計画策定等をお願いしたいと思っています。

あと最後に一点だけです。EBPM ということで、ちょっと何か小難しい言葉なんですけれども、要はそれぞれのねデータとか根拠に基づいた政策だったり施策事業をしっかり立案していこうと、数値だったりだけじゃなくて、しっかりした根拠に基づいて作っていこうという話なわけですね。これ大阪市としても進めている中なんですけれども、例えば今回ねアートプロジェクトのところなんですけれども、au の移動データだけでっていうところ、ちょっとこれは希薄かなと私は感じました。これだけでもってですね、まだまだ賑わいが足りてないっていうところは判断できませんし、さらに言うと、これから動線が西九条から千鳥橋の方に動線が繋がっていくと、賑わいがどんどん広がっていくとなってから、さらにまた検証も必要でしょうし、本当に今後 EBPM っていうところをしっかりと区としても打ち出されるのであれば、本当に徹底した情報のもとにですね、根拠をもとに、政策立案、施策事業の立案をしていただけたらと思っています。

本日は本当に長時間にわたりありがとうございました。お疲れ様でした。

【浦野議長】

ありがとうございました。続きまして、今田市会議員よろしくお願いします。

【今田議員】

皆さんありがとうございました。市会議員の今田でございます。

もう先ほどたち議員も言われましたので、私からは一言、皆さん言われていた伝わる広報という部分で、これが非常に大切やというふうに思っております。前回も防災の取組からですね、我が家の避難プランに関しては目標達成されてですね、しっかり進めていただいていますし、また、そういったこと以外にもですね、子ども虐待であったり、また魅力発信等々についてもですね、やはり発信力、見ていただける環境を作っていくことが重要かと思えます。100 周年のモザイクアートに関しても、いろんなイベントで職員の皆さんがですね、本当に粋を持って走っていただいて、目標に向けて達成がだいぶ進んでいっているということ

も伺っております。この LINE 登録数ということで見ていく部分も検討されているということですから、この数値目標をしっかり決めてですね、もう一気にしっかり登録数を増やしていくということを具体的にしていただければですね、区民の皆さんに伝わる広報というものが一つ一つ繋がっていくというふうに思っております。

今後も皆様には大変お世話になりますけれども、本日いただいたご意見はですね、区政だけでなく市政にしっかり活用できるように取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

【浦野議長】

ありがとうございました。長時間にわたり、皆様のご協力によりまして、若干予定時間よりもオーバーしましたけども、会議を円滑に進めることができました。ありがとうございました。これでこれをもちまして議長を降壇させていただきます。ありがとうございました。

【西川課長】

浦野議長どうもありがとうございました。それでは閉会にあたり事務局からご案内がございます。先ほど議長の方からもありました、お手元の封筒に、此花区政に関する意見票を入れておりますので、本日いただいた意見以外にもご意見等ございましたら、ご記入いただきまして、お手数ではございますが、8月2日の金曜日ぐらいを目途に、返信用封筒でご提出いただけたらありがたいと思っております。

なお頂戴したご意見等は、ホームページでも公表させていただきますのでご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。前回いただいた意見等は、封筒の中にも回答を入れておりますので、また時間があるときにご覧いただけたらと思います。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回此花区区政会議を終了させていただきます。長時間にわたりどうもありがとうございました。どうかお気をつけてお帰りください。